

飼育 (1961)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 105分
初公開日 1961/11/22
公開情報 大宝

【解説】

大江健三郎の同名小説を、田村孟が脚色し大島渚が監督した異色作。大島にとっては松竹を退社し初めて独立プロで制作した作品となる。

昭和二十年の夏、ある貧しい山村に米軍機が墜落。村人たちの山狩りにより、搭乗者である黒人兵が捕まった。地主の鷹野一正は、黒人兵の足首を鉄の鎖で固定し、村で“飼育”することにした。村の少年たちは物珍しさから、毎日のように黒人兵のもとを訪れ、彼の様子をうかがっていた。やがて少年たちと黒人兵との間に親近感がわくようになった。村には疎開者が多く、村民と一正との間にトラブルが多く発生していた。一正はトラブルの原因が黒人兵であると断定。少年たちは黒人兵を逃そうとするが、一正はナタで彼を殺してしまう。

【クレジット】

監督 大島渚 Nagisa Oshima
製作 田島三郎
中島正幸
原作 大江健三郎 「飼育」
脚本 田村孟
撮影 舎川芳次
美術 平田逸郎
音楽 真鍋理一郎
出演 三國連太郎
ヒュー・ハード
小山明子
三原葉子
中村雅子
沢村貞子
大島瑛子
浜村純
山茶花究